

匠の技術にふれたくて知っているようで知らないものづくりの現場を訪ねました。

大人の社会見学

靴のまち・豊岡。その豊岡の靴業界は、製造業・卸問屋・材料商で構成されている。メーカーや靴問屋が

靴業界を支えているのはもちろんの事だが、良い材料がなければ良いものづくりもできない。今回は意外に知られていない材料商にスポットを当てて紹介する。

靴業界の裏側に潜入 靴の材料屋さん

ものづくりの原点である材料
品質管理と商品開発を追求し
今日も豊岡の靴業界の一役を担う

創業昭和32年。豊岡市泉町にある「浮田産業株式会社」はYKKファスニングプロダクツ販売株式会社正規代理店であり、バッグ製造に必要なファスナーや金具などを取り扱う材料屋だ。東京・大阪にも支店を持ち、アテナを広げてあらゆるお客さんのニーズに答えている。

靴材であるファスナーは、まずファスナー工場で第二工程のサイズカットが行われる。そしてファスナー加工・引き手加工等複数の行程があり、その行程ごとにベテランのスタッフの厳しい目でチェックされる。また金具ひとつをとっても種類は豊富にあり、メッキ・塗装の不具合等のチェックも徹底して行われる。

そうして作られた質の高い材料を元に製造業・卸問屋を経て豊岡の靴として我々の手元に届く。「とにかく品質にこだわる」。この想いを会社全体で徹底、2006年には品質管理部を発足させた。「管理を徹底するための責任感も強化され、スタッフは自分の作った製品にしっかりと誇りを持つようになった。今

ではスタッフの方が僕より品質に対する意識が高いかもしれないですね」と浮田社長は笑う。

現場で働くスタッフも、お客さんに求められるさらに上のレベルを目指す姿勢でものづくりに励んでいる。現在、不良率がほぼゼロなのは、長年「品質」にこだわってきた結果とも言えるだろう。

「品質レベルの継続はもちろん、意見やアイデアは誰でも言える会社にしたかった」。揺るがないこだわりと向上心で、これからも豊岡の靴業界の更なる発展を目指す。

皆さんも一度お持ちの靴に付いている「材料」に目を向けてみよう。より一層愛着が湧いて、もつと靴が好きになるだろう。



工場で見られるのはほとんど女性の姿。細かい作業が中心の現場では、女性ならではの繊細さが大きな力になっている。



東京ビックサイト等で展示会を開催することもある。漆塗り加工の名刺ケースや女性の下着からヒントを得た金具など、異業種とコラボしたオリジナル製品にも力を入れている。

DATA

■浮田産業株式会社
豊岡市泉町9-13 TEL.0796-22-7111
YKKファスニングプロダクツ販売株式会社正規代理店、ファスナーや靴用金具等を扱っている。
<http://www.ukitasangyo.jp/>

お寺へいこう。

素材ながらも優れた文化財がたくさんある但馬。近くのお寺にもっと足を運んでみよう！

力強く穏やかな表情 人々を見守る薬師如来坐像



薬師如来坐像は兵庫県指定重要文化財に指定されている。極めて日本的な仏像様式として、博物館や展示会などで紹介されることも。両脇には、仏像の置かれる須弥壇(じゆみだん)の四隅に設置される「四天王像」のうち、多聞天、増長天の二像がまつられている。



今回案内をしていただいた高橋住職

今回、編集部が訪ねたお寺は...

02 松禪寺 しょうぜんじ

兵庫県豊岡市但東町栗尾469
TEL.0796-55-0034



爽やかな風が吹く心地よい境内。左側が薬師如来坐像がまつられている「薬師堂」。



古来より人々の信仰を集めている薬師如来坐像。左手に小さな丸い薬壺を乗せているのが特徴。



松禪寺の本尊である「延命地藏願王菩薩立像」。着衣のひだの簡略化に特徴がある。作者は、平安時代の天台宗の高僧・恵心僧都(えしんそうず)とされているが定かではない。

緑豊かな里山に囲まれた豊岡市但東町栗尾に、臨済宗・妙心寺派石室山松禪寺がある。四季折々の草花が溢れ、こじんまりとまとまったお寺だ。松禪寺の前身は、2キロほど離れた郷路岳中腹にあった天台宗の石室山松葉庵であり、江戸時代中期に現在の地へ移ったとされている。

境内にある薬師堂は同地区堂ノ本にあったものを明治13年3月に現在の地へ移された。本尊の「薬師如来坐像」は堂ノ本に湧いていた温泉の守護仏であったと伝えられている。この薬師如来像は、平成元年9月にベルギー王国の首都ブリュッセルで開かれた文化交流事業「ユーロパリア89ジャン」において、日本に伝来する仏教美術として紹介された。伏目がちな切長な目、つぼみのようなかわいらしい口元、肩から胸へのなだらかな線など、彫りの浅い穏やかなで優雅な仏像様式。平安時代の作と



「薬師如来は病氣平癒などを祈って作られる仏様。この仏像もきつと多くの人の祈りや願いを込めて造られたものでしょう。造った人々の想いや、今まで手を合わせてきた人々の歴史に、思いをはせてみるのもいいですね」とは高橋住職。その穏やかな表情は、これからも人々の心を癒し続けるだろう。

仏像まめ知識

ONE POINT ADVICE

★定朝様式ってなに？

定朝(じょうちょう)とは平安時代の仏師で、「寄木造」という日本独自の仏像技法と「定朝様式」という仏像様式を確立したといわれている。

★定朝様式の特徴

大きく彫出されている螺髪(らはつ)



※見学は自由ですが、マナーを守って鑑賞しましょう。

竹中司法書士事務所

●不動産登記 ●商業・法人登記 ●相続 ●裁判事務



司法書士・行政書士
竹中 博司
TEL. 0796-23-4111
FAX. 0796-23-4161
MAIL. takenasihousyosi@sage.ocn.ne.jp



仏壇・仏具

やました

豊岡大開通り

0120-0796-22